国鉄改革完遂！
当たり前の労働運動を
前進させよう！
JR 東海労に
結集しよう！

ＪＲ
東海労

静岡

ＪＲ東海労働組合静岡地方本部
〒420-0851
静岡市葵区黒金町 68 番地
ＮＴＴ　　054-284-3608
発行責任者　　半場弘恭
２０２５年8月２６日　№.4

戦争の記憶を風化させない！！

緑十字機不時着 80 年記念大会に参加

８月２０日、静岡地本は磐田市民文化会館「かたりあ」で開催された「緑十字機不時着 80 年記念大会」に、静岡県９条連の仲間とともに８名で参加してきました。

８０年前の８月２０日、昭和天皇による玉音放送（8/15）後も、連合軍による徹底破壊やソ連軍による北海道侵攻の危機が迫る中、終戦手続きのために伊江島から東京へと急ぐ軍師らが搭乗していた輸送機に予期せぬトラブルが発生し、墜落を奇跡的に回避して、磐田市鮫島海岸に不時着しました。当時、彼らを一刻も早く東京へ送り届けようと奔走した地元磐田・浜松の関係者ゆかりのかたがたや、戦後平和を今後もしっかりと紡いでいこうという市民の皆さんが、会場一杯に集いました。

大会では『緑十字機　決死の飛行』の著者岡部英一氏の講演、最近行われた緑十字機海中探査報告などが行われ、平和パフォーマンスでは、高校生による不時着現場の地学研究や郷土芸能、ブラジル人学校生徒による合唱などが披露され、平和への取り組みが若い世代へも引き継がれていきました。

主催者からは、沖縄県伊江村、磐田市、浜松市による「戦後平和の発祥地宣言」が発せられ、来場者全員参加で緑十字紙飛行機の飛翔を行いました。

大会終了後の地本・静岡県９条連のミーティングでは、参加メンバーから「自分の父親が、鮫島海岸に記憶とともに埋もれていた機体部品の第１発見者である」と明らかにされました。たいへん驚くとともに、私たちも後世へ語り継いでいかなければならないと決意を新たにしました。